

足もとの豪州の投資環境

来日マネジャー出演動画 好評配信中!

<http://www.leggmason.co.jp/movie.html?mid=15>

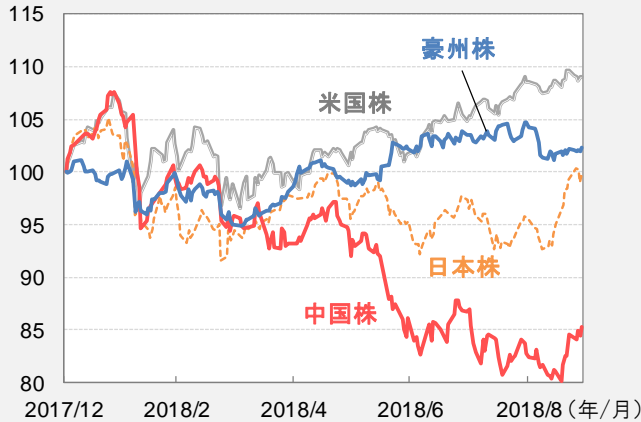
2018年9月、レッグ・メイソン・グループでオーストラリア株式の運用を手掛ける「マーティン・カーリー・オーストラリア」からポートフォリオ・マネジャーが来日致しました。当レポートでは運用チームが考える豪州の投資環境についてダイジェスト版でご紹介いたします。

【株価】米中貿易摩擦の中でも豪州株は堅調に推移

- 2018年初来、米中貿易摩擦の影響を受け中国株が軟調となる中、豪州株は堅調に推移しています(左図)。
- 米中貿易摩擦の根幹には、ハイテク分野の覇権争いがあるとみられる一方、豪州の主要輸出品目は鉄鉱石、石炭、天然ガスといったエネルギー資源が占めており、主にアジアに輸出されています(右図)。中国への輸出品も約83%が中国国内で消費されていることから、豪州は貿易摩擦の影響を受けにくいと考えられます。

【豪州株と各国の株価指数の推移】

(2017年末～2018年9月28日)



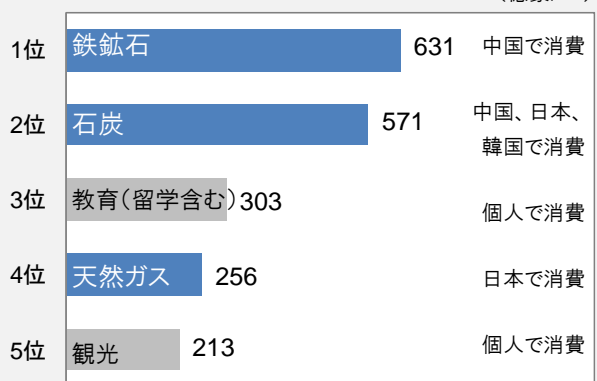
(出所) ブルームバーグ

※米国株: S&P500指数、豪州株: S&P/ASX200指数、日本株: TOPIX、中国株: 上海総合指数

【豪州の主要輸出品目】

(2017年)

(億豪ドル)



(出所) オーストラリア外務省

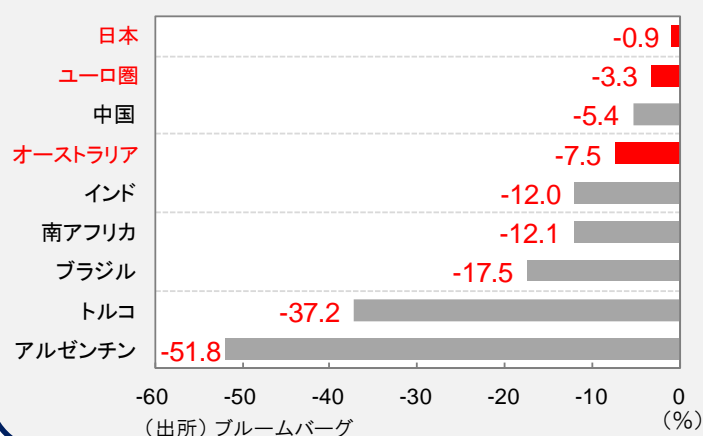
【為替】2018年は豪ドルだけでなく他通貨も下落する展開に

- 2017年末以降、豪ドルだけではなく、多くの他通貨も同様に対米ドルで下落する展開となりました。
- このような為替の動向の背景の一つとして、昨年米国で成立した税制改革法案によって米国企業が海外留保利益を米国国内に還流させる動きが強まり、米ドル高が進行したことが挙げられます。

【主要国通貨の騰落率(対米ドル)】

(2017年12月末～2018年9月28日)

(赤字は先進国・地域)

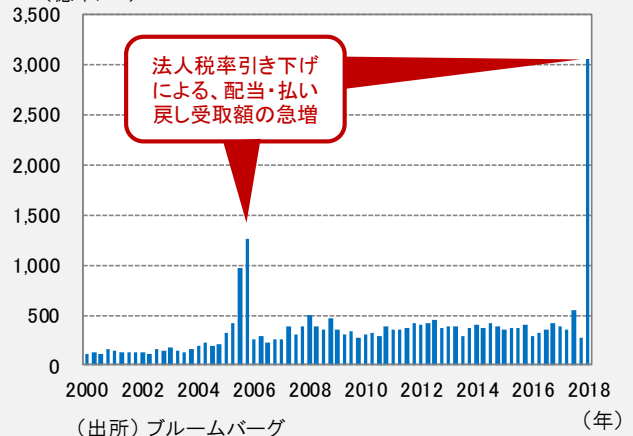


(出所) ブルームバーグ

【米国企業の海外からの配当・払い戻し受取額】

(2000年第1四半期～2018年第1四半期)

(億米ドル)



(出所) ブルームバーグ

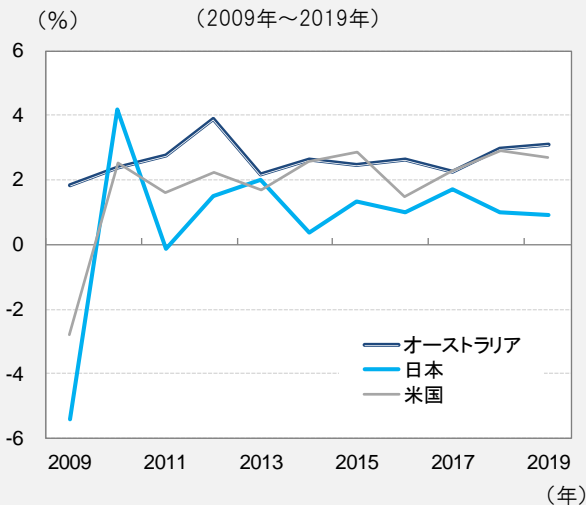
● 当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。● 当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。● 当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。● この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。● 当資料は情報提供を目的としたのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。



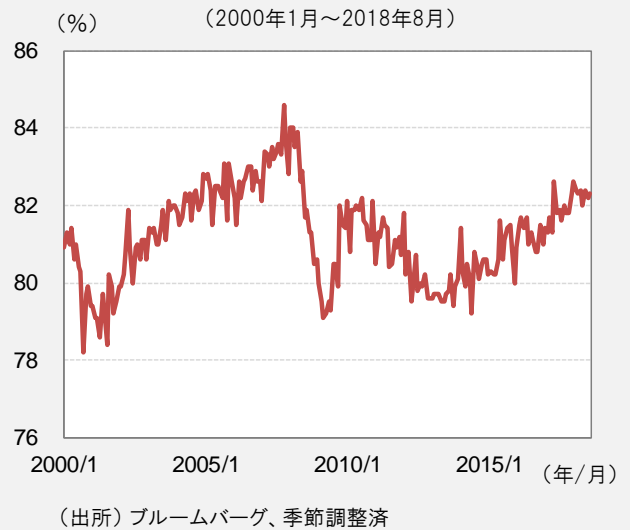
【経済】豪州の実質GDPは26年連続プラス成長

- 豪州の実質GDP成長率は、26年連続でプラスとなっています。リーマンショックの翌年である2009年もプラス成長となるなど、IMFが定義する先進国の中で最も長いプラス成長期間を維持しています。
- 経済が堅調であることから豪州の設備稼働率は2014年以降上昇傾向が続いています。これは政府が進めるインフラ投資計画や住宅建設などの動きが活発であることも要因の1つと考えられます。

【主要国の実質GDP成長率】



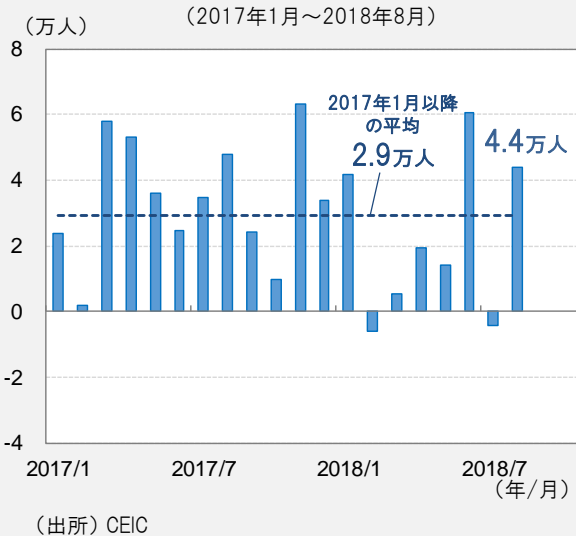
【豪州の設備稼働率】



【経済】堅調な経済が雇用増加をけん引、失業率は改善傾向

- 堅調な経済状況を背景に、豪州の雇用環境は改善傾向にあります。2018年8月の雇用者数は前月比+4.4万人と、2017年1月以降の平均を上回る水準となりました。
- 2018年8月の豪州の失業率は5.3%と2012年以来の低水準を維持し、雇用環境の改善が継続していることが確認されました。

【豪州の雇用者数(前月比)】



【豪州の失業率】

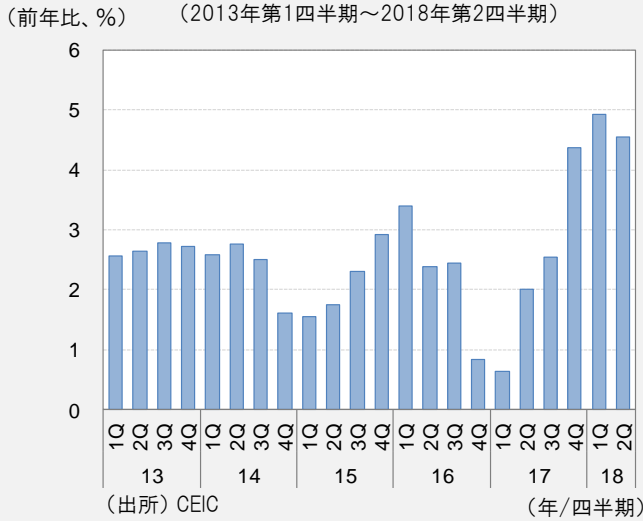




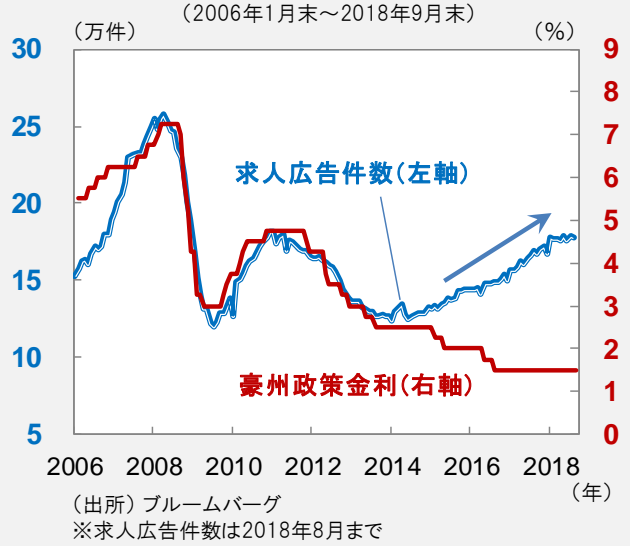
【政策金利】インフレ率上昇への期待から利上げ観測が台頭する可能性も

- 雇用環境の改善から豪州の賃金総額の伸びは高まっています。2018年第2四半期は前年比+4.5%と引き続き高い伸び率が確認されました(左図)。
- 政策金利については、豪州準備銀行は2016年9月以降1.50%で据え置いています(右図)。一方、景気先行指数である求人広告件数は2015年以降増加傾向にあり、足もとの景気見通しは堅調を維持しています。今後、賃金上昇の高まりからインフレ率上昇への期待が高まれば、豪州準備銀行による利上げ観測が台頭する可能性があります。

【豪州の賃金総額(前年比伸び率)】



【求人広告件数と政策金利】

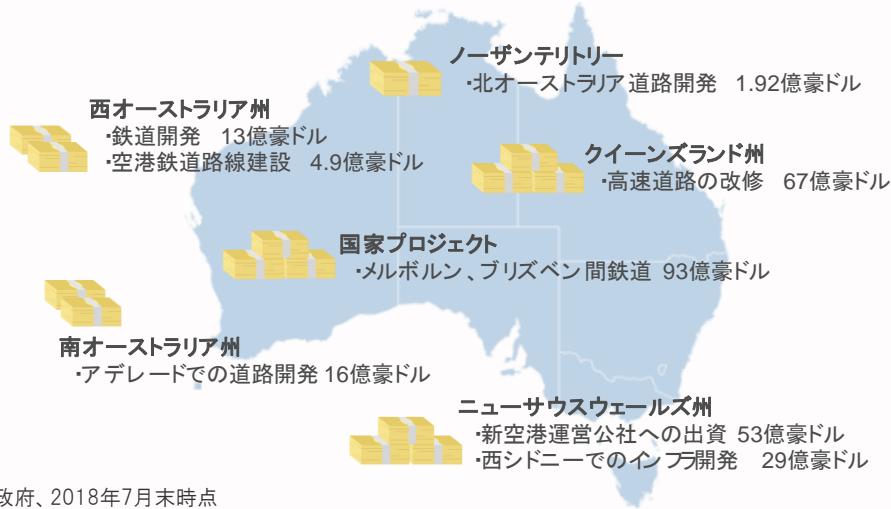


TOPIC

豪州のインフラ投資の政府予算

- 生産性や成長性を向上させて経済成長を支える観点から、インフラ投資の増加は豪州の連邦政府予算の主要課題となっています。
- 今後10年で政府は運輸インフラに約750億豪ドル(約6兆円)投資する計画です。経済成長を加速するためにも、エネルギーへの投資からインフラへの投資への転換により経済の構造転換が進んでいます。

現在進行中のインフラ計画の一部



(出所)オーストラリア政府、2018年7月末時点
 ※為替はブルームバーグの2018年9月末 1豪ドル=82.13円にて円換算

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としたのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。